

# 大分県リハビリテーション支援センター

## 活動報告

## 平成22年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

月日	活動内容	派遣者
H22.4.28	第14回三者会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
5.12	第8回拡大運営会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
7.11	県リハセンター・県地域リハ研究会第7回合同研修会 …地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修1日目を兼ねる	
7.14	大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会 平成22年度第1回役員会(大分市)	MSW稲積
6.26～27	全国地域リハビリテーション研究会研修大会in札幌	センター長(森院長) 運営部長 PT永徳
8.1	第5回目標指向的介護・リハ研修会(由布市 湯布院厚生年金病院)	
8.5	大分県脳卒中回復期維持期地域連携推進協議会	センター長
9.11	宇佐高田地域リハ広域支援センター研修会	センター長 日隈技師長
9.15	地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修2日目(由布市 湯布院厚生年金病院)	
9.27	大分県介護予防市町村支援委員会 平成22年度第1回運動機能向上専門部会(大分市)	センター長 桑野副院長
10.3	第17回大分地域リハ広域支援センター研修会	日隈技師長
10.13	第15回三者会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
10.28	大分県介護予防市町村支援委員会(大分市)	センター長
10.31	第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会(由布市 はさま未来館) 主催:県地域リハ研究会 共催:県リハセンター	
11.17	地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修3日目(由布市 湯布院厚生年金病院)	
11.24	中津地域広域支援センター連絡協議会(中津市)	運営部長
11.20	豊肥圏域竹田地域広域支援センター第7回研修会講師(竹田市)	転倒予防教室プロジェクト班より3名
11.30	平成21年度大分県介護予防市町村支援委員会 第1回運動機能向上専門部会(大分市)	センター長 桑野副院長
12.1	第2回実務者会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
H23.1.25	大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会 平成22年度第2回役員会(大分市)	MSW稲積
2.6	第18回大分地域リハ広域支援センター研修会	日隈技師長 MSW稲積
2.18	大分県リハビリテーション協議会(大分市)	センター長
2.27	第1回地域包括ケアシステム研修会(由布市 湯布院厚生年金病院)	
3.6	中津地域リハ広域支援センター研修会	MSW稲積
3.14	大分県介護予防市町村支援委員会(大分市)	センター長
3.14	大分県地域リハビリテーション研究会 第16回役員会(大分市)	運営部長
3.18	別杵速見地域リハ広域支援センター研修会	主任PT梅野
3.23	平成22年度福祉用具・住宅改修事業者協議会(大分市)	主任PT梅野

※中部圏域大分地域で2カ月に1回程度開催される実行委員会へ梅野主任PTが出席している。

※大分県地域リハビリテーション研究会が開催する運営部会へ主任PT梅野またはMSW稲積が出席している。

※県リハセンターでは毎月第2火曜日に運営委員会を実施している。

## 平成 22 年度実施事業の詳細

### (1) 第 14 回三者会議

日 時：平成 22 年 4 月 28 日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康対策課より佐藤参事、池邊課長補佐

広域支援センター代表者

地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会より衛藤会長

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの H21 年度活動報告

本事業に対する県の方向性について

県リハセンター並びに広域支援センターの H22 年度活動計画

### (2) 第 8 回拡大運営会議

日 時：平成 22 年 5 月 12 日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康対策課より藤内課長、佐藤参事、池邊課長補佐、関係団体代表者

主な議題：H21 年度県リハセンター並びに広域支援センター活動報告の紹介

H22 年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画の紹介

本事業に対する県の方向性について

地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告

### (3) 第 7 回合同研修会(大分県地域リハビリテーション研究会共催)

日 時：平成 22 年 7 月 11 日(日)

場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議場

内 容：

①H21 年度地域リハビリテーション活動報告と H22 年度の事業計画

県リハセンター及び広域支援センター代表者

②講演「地域包括ケアシステム構築に向けて

～介護支援専門員の取り組みと地域リハビリテーション活動～」

講 師：日本介護専門員協会 会長 木村隆次 先生

③シンポジウム「地域連携を考える～認知症を地域でどう支えるか～」

シンポジスト：(社)大分県看護協会

松本まり

大分県言語聴覚士会

佐藤芙未映

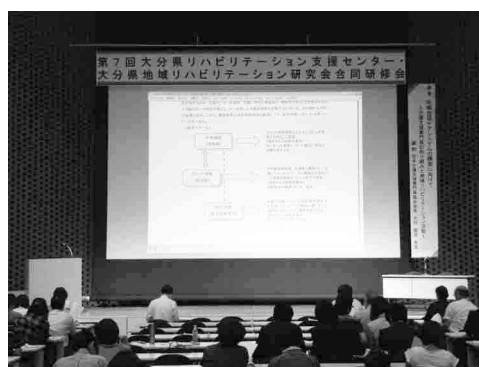
大分県介護福祉士会

梶原キヌ子

大分県医療ソーシャルワーカー協会

井元哲也

参加者数：約 290 名



(4) 第5回目標指向的介護技術講習会

日 時：平成22年8月1日(日)

場 所：湯布院厚生年金病院 教育室

参加者数：81名

内 容：

講義1「ICFと目標指向的介護・リハ」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 部長 佐藤浩二

講義2「目標指向的介護・リハの実践に向けた看護」

講師：湯布院厚生年金病院 看護部 看護師長 古椎久美

講義3「目標指向的介護・リハにおける理学療法士のあるべき姿」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 理学療法士 渡辺亜紀

講義4「目標指向的介護・リハにおける作業療法士のあるべき姿」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 作業療法士 矢野高正

講義5「目標指向的介護・リハにおける言語聴覚士のあるべき姿」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 言語聴覚士 木村暢夫

ミニ講座1「歩行補助具の診方と活用方法」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 理学療法士 黒瀬一郎

ミニ講座2「福祉用具の活用と住環境整備」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 作業療法士 太田有美

総合討論



(5) 第15回三者会議

日 時：平成22年10月13日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康対策課より佐藤参事、池邊課長補佐、広域支援センター代表者

主な議題：今年度事業の進捗状況報告

県より報告・相談

H22年度事業計画策定に向けて

(6) 第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会（県リハセンター共催）

日 時：平成22年10月31日(日)

場 所：はさま未来館

参加数：195名

テーマ：「くらしを支えるリハビリテーション～ネットワークを深めよう～」

内 容：

(午前)

特別講演「高齢者・障害者のくらしを支える住環境」

講師：大分大学工学部福祉環境工学科 准教授 鈴木義弘先生

シンポジウム「高齢者・障害者が安心して暮らせる街づくり」

シンポジスト：

大分県地域福祉推進室 室長 河野成典

大分県介護支援専門員協会 栗原洋一

NPO 法人自立支援センターおおいた 五反田法行

(午後)

口述発表、ポスター発表

(7) 平成22年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修

日 時：平成22年7月11日(日)、9月15日(水)、11月17日(水)

場 所：(1日目) 別府ビーコンプラザ

(2・3日目) 湯布院厚生年金病院

2日目内容：講義、グループワーク

講義1「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業のこれまでの

取り組みとその成果～地域リハビリテーション推進指針を踏まえて～」

講師：大分県健康対策課 参事 佐藤玉枝

講義2「地域リハ調整者・地域リハ協力員への期待

～これまでの経過を踏まえて～」

講師：湯布院厚生年金病院 名誉院長 有田 眞

講義3「戦略的地域づくりについて考える」

講師：兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター西播磨病院

リハビリテーション科部長 総合相談・地域連携室室長 逢坂悟郎

グループワーク

3日目内容：グループワーク

※今年度は22名の地域リハ調整者、10名の地域リハ協力員(市町村から委託された地域包括支援センター職員の場合)が誕生し、養成総数は256名となった。

※養成研修におけるグループワーク内容の要約資料「養成研修グループワークのまとめ」(資料1・2)及び「地域リハ調整者・地域リハ協力員圏域別人数」(資料2)を巻末に添付した。



(8) 第2回実務者会議

日 時：平成22年12月1日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院

出席者：県健康対策課より佐藤参事、高齢者福祉課より前田課長補佐、甲斐主幹  
広域支援センター実務担当者

主な議題：H23年度事業計画策定にあたって

(9) 第1回地域包括ケアシステム研修会

日 時：平成23年2月27日(日)

場 所：湯布院厚生年金病院

参加数：126名

(内訳：医師2名、看護師8名、保健師17名、PT9名、OT9名、ST7名  
社会福祉士・相談員10名、介護支援専門員22名、その他・職種不明18名)

内 容：

講義1「医療機関と介護支援専門員・介護サービス事業者との連携  
～医療機関から望むこと～」

講師：湯布院厚生年金病院 副院長 桑野慎一郎

講義2「医療機関と介護支援専門員・介護サービス事業者との連携  
～介護支援専門員・介護サービス事業者から望むこと～」

講師：九重町社会福祉協議会 介護支援専門員 熊谷京子

講義 3 「地域連携に向けた大分県の取り組み」

講師：大分県福祉保健企画課 主幹 甲斐優子

講義 4 「ICF でつなぐリハビリテーション（総合）実施計画書とケアプラン」

講師：在宅総合ケアセンター“ムーミン” 介護支援専門員 日隈武治

講義 5 「地域リハ調整者の活躍の可能性について」

講師：豊後大野市保健福祉部健康推進課 衛藤浩子

(大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会長)

総合討論 ①情報提供のあり方

②サービス担当者会議が果たすもの

③ケアプランに求めるもの

をテーマに意見交換



# 地域リハビリテーション関連活動報告

## I. 転倒予防教室

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22. 6.15	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
7.22	別府市	転倒予防教室	転倒予防班
10. 7	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
11. 6	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
11.25	宇佐市	転倒予防教室	転倒予防班
H23. 2.15	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
2.23	宇佐市	転倒予防教室	転倒予防班
3. 2	宇佐市	転倒予防教室	転倒予防班

## II. 地域支援事業

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22.10.19～12.28のうち3回	湯布院町(1クール目)	地域支援事業	転倒予防班
H23.1.18～3.29のうち3回	湯布院町(2クール目)	地域支援事業	転倒予防班

## III. 研修会等の講師派遣

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22. 4.12	大分市	第8回グラフ化体重日記研究会 「単純性肥満と摂食障害:食行動異常の質的差異と相互移行の可能性について」	医師
4.12	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
4.16	日田市	日田市立東部中学校へ講師「中体連に勝つ!メンタルトレーニング」	院長
4.16・23	福岡県福岡市	麻生リハビリテーション専門学校へ非常勤講師「失語症IV(臨床II)」	リハ副部長
4.25	中津市	中津歯科医師会による研修会の講師	リハ副部長他1名
4.25	大分市	「アセスメント、ニーズの把握の方法」	リハ技師長
5. 8・15	延岡市	「臨床特論」	リハ部長
5.14	大分市	第18回大分心臓リハビリテーションセミナーの座長	医師
5.14	別府市	畑病院へ医療安全講演「医療安全～クレーム対応～」	院長
5.15～16	由布市	がん診療に関わる医師を対象とした緩和ケア研修会	臨床心理士
5.16	大分市	地域医療懇話会にて「地域連携パスの現状について」	副院長
5.18	竹田市	竹田高校にて講演	院長
5.19	大分市	大分南高校へ講義「ベストコンディションで戦うために～健康管理と危機管理～」	院長
5.22・23 6.26・27	別府市	平成21年度合格者介護支援専門員実務研修2組の講師	リハ技師長
6. 5	日田市	日田市東部中学校卓球メンタルトレーニング講義	院長
6. 7	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
6.10	大分市	実習指導案演習オリエンテーション	看護師
6.25	湯布院町	難病患者・家族相談会における講師	PT
6.26	別府市	別府大学懇談会開催に伴う講師	栄養士
6.27	別府市	がん診療に関わる医師を対象とした緩和ケア研修会「コミュニケーションについて」	臨床心理士
6.29	庄内町	難病患者・家族相談会における講師	PT
7. 2	由布市	「メタボリックシンドロームとその予防」	医師
7.2・8.8.19	大分市	大分県社会福祉介護研修センターへ平成22年度摂食嚥下セミナーの講師	リハ副部長
7. 3	大分市	「地域作業療法」	リハ技師長
7. 3	日田市	日田ボーリング連盟メンタルトレーニング	院長
7. 4	大分市	ホームヘルパー2級養成講座「医学の基礎知識」	院長
7. 8	大分市	大分県社会福祉介護研修センターへ講師「摂食・嚥下障害患者をもつ、患者の介護」	看護師長
7. 8	由布市	鶴見高校先生へメンタルトレーニング講義	院長
7.11	日田市	津江中学校家庭教育講演会の講師「自分で作る元気な体、自分で守る自分の体、運動・栄養・睡眠」	院長
7.14	宮崎県延岡市	九州保健福祉大学 言語聴覚療法学科の講師 「ICFの視点に立った自立支援と言語聴覚療法—制度のなかの回復期リハビリ棟、失語症訓練の立案と実践」	ST
7.15	大分市	大分県社会福祉介護研修センターへ講師として	主任PT他2名
7.16～17	宮崎県日南市	宮崎県立日南病院 医療安全講演の講師	院長
7.20	九重町	九重町「みなみの風」施設内研修会の講師「脳卒中後のコミュニケーション障害と対応方法」	ST
7.22	別府市	鉄輪長寿セミナー「かいごの学校」の講師「リハビリと運動について」	主任OT他1名
7.24	大分市	井野辺病院 医療安全研修会の講師	副看護部長他3名
7.24～25	福岡県福岡市	脳卒中患者の作業療法～急性期、回復期から地域生活につなげる理論と臨床実践について～	リハ部長
7.24～25	福岡県福岡市	認定作業療法士に求められるもの	主任OT
7.25	別府市	大分乳がんの会 オードリーの会にて「がんと上手に向き合うために」	臨床心理士
7.25	大分市	職業倫理	リハ技師長
7.27	大分市	佐賀関病院の院内研修会の講師「回復期リハビリ棟における看護師の役割」	看護師長
7.28	大分市	大分県社会福祉介護研修センターにおいて大分食のリハビリ研究会の講師	歯科衛生士
8. 1	由布市	「ICFと目標指向的介護・リハ」	リハ部長他5名



8. 1	大分市	大分県社会福祉介護研修センターにおいて摂食嚥下セミナーの講師	ST2名
8. 3	日田市	日田市教育庁教育センターにおいて「メンタルトレーニング講座」	院長
8. 7	別府市	青山高校内にてシンクロメンタルトレーニングの講師	院長
8. 8	由布市	口腔ケア時のリスク管理	看護師長
8. 8	大分市	歯科衛生士と嚥下障害の取り組みについて	リハ副部長
8.19	大分市	「摂食嚥下障害の取り組みをいかに現場に落とし込むか」	リハ副部長
8.20	大分市	学校職員研修・講義	院長
8.23	豊後大野市	豊後大野市学校教育振興協議会における教育講演会の講師	院長
8.26	別府市	鉄輪長寿セミナー「かいごの学校」の講師「食べることで健康づくり」	リハ副部長
8.28	宇佐市	ヘルパー2級講座の「医学の基礎知識」の講師	院長
9. 4	山梨県甲府市	山梨県甲府病院講演「臨床脳スポーツ医学の現状と課題」	院長
9. 6	杵築市	平成22年度杵築市杵築中央公民館において「中央女性講座」第2回学習会の講師	院長
9. 7	玖珠郡玖珠町	大分県西部保健所による看護連携強化フォーラムの講師	看護師
9. 9	大分市	大分県作業療法協会による研修会の講師「通所系サービスと作業療法」	リハ部長
9.10	福岡県久留米市	医療法人天神会古賀病院21へ職員研修会の講師	臨床心理士
9.16~17	東京都	中堅看護師研修会の講師「摂食嚥下障害の看護」	看護師長
9.18	大分市	ボーリングメンタルトレーニング講義	院長
9.24	大分県大分市	附属中学校メンタルトレーニング講義	院長
9.24	臼杵市	社会福祉法人同心会 職員研修会の講師「良くする介護のあり方、食べることを通じて」	リハ副部長
9.26	大分県日田市	がん診療に関わる医師を対象とした緩和ケア研修会	臨床心理士
9.27	由布市	介護予防における口腔機能向上の取り組み	主任ST
10. 5	玖珠郡玖珠町	うつへの対応	臨床心理士
10.7・11.4	由布市	中部保健所由布保健部によつ平成22年度「生命と看護の授業」の講師	看護師
10.20	大分市	大分県立大分西高等学校へ講師「職業人に学ぶ「リハビリ」ってどんな仕事!？」	PT
10.22	大分市	日本ベーリンガーインゲルハイムによる社内勉強会の講師	医師
10.24	大分市	ホームヘルパー2級講座「医学の基礎知識」	院長
10.25	大分市	摂食嚥下障害およびコミュニケーション障害のリハ・ケア	リハ副部長
11. 1	大分市	大分県立看護科学大学講演「看護に必要な医療安全」	院長
11.1・4	大分市	在宅医療技術管理演習(訪問看護認定看護師教育課程の講師)	看護師長
11. 2	別府市	医療安全管理勉強会講演	院長
11. 5	別府市	高次脳機能障がい支援者養成研修会	MSW
11.10	由布市	由布市健康増進課によるアクティブヘルス教室の講師	医師
11.10	大分市	大分県立看護科学大学講演「事例から学ぶ医療安全」	院長
11.10	豊後大野市犬飼町	有料老人ホームケンコーによる職員研修会の講師「食のリハ・ケアについて」	リハ副部長
11.10	宇佐市	介護予防～転倒予防について(骨密度)～、転倒予防の実技指導	GT
11.11	日田市	大分県西部保健所による看護連携強化フォーラムの講師	看護師
11.12	佐賀県佐賀市	運動部活動指導者研修会講演	院長
11.16	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
11.17	由布市	アクティブヘルス教室	医師
11.17	由布市	由布市健康増進課によるアクティブヘルス教室の講師	医師
11.18	大分市	伊予銀行大分支店講演「ベストコンディションでベストパフォーマンスを発揮する方法」	院長
11.19	由布市	由布市健康増進課によるアクティブヘルス教室の講師	医師
11.19	福岡県北九州市	第26回NPO法人日本脳神経外科血管内治療学会 学術総会コメディカル教育セミナーの講師	看護師長
11.19	杵築市	杵築高校講演「ベストパフォーマンス心技体知の向上をめざして」	院長
11.21	由布市湯布院町	並柳自治区産業文化祭記念講演会	医師
11.21	大分市	作業療法の可能性	OT
11.22	佐伯市	南海病院医療安全講演「事例に学ぶ医療安全～あなたならどうする～」	院長
11.23	別府市	食のリハビリテーション	リハ副部長
11.24	別府市	鶴見病院医療安全講演	院長
11.25	大分市	大分県立看護科学大学へ講師「言語障害及び嚥下障害の援助について」	リハ副部長
12. 1	大分市	大分県立看護科学大学講演	院長
12. 1	大分市	第2回介護予防関連事業従事者研修会の講師「口腔機能向上の意義」	リハ副部長
12. 2	別府市	がん患者とその家族への支援-心のつらさの理解と援助的コミュニケーション	臨床心理士
12. 3	大分市	大分大学医学部第三次生臨床講義の講師「心身症」	医師
12. 3	大分市	労災保険情報センター研修会講演	院長
12. 3	別府市	別府自衛隊病院医療安全研修会講演	院長
12.10	東京都	医療安全対策・各病院の取り組み(医療安全管理者養成講習会)	副看護部長
12.14	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
12.18	由布市	日田剣道部メンタルトレーニング講義	院長
12.19	別府市	介護支援専門員が求める言語聴覚士につて	リハ技師長
H23. 1.14	別府市	大分県青色申告会連合会女性部による研修会の講師「医療機関における社会福祉士の役割」	MSW
1.15	大分市	ボーリングメンタルトレーニング講義	院長
1.18	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
1.18・2.1	大分市	平成22年度介護支援専門員実務従事者基礎研修の講師「サービス担当者会議について」	リハ技師長
1.21	大分市	大分県看護協会において平成22年度研修会の講師「摂食・嚥下障害のリハ・ケア」	リハ副部長

1.23・2.19・20	大分市	平成22年度介護支援専門員実務研修の講師「介護サービス計画の作成とチームアプローチ」	リハ技師長
1.26	由布市	大分県中部保健所による福祉施設栄養士研修会の講師「嚥下障害の病態」	リハ副部長
1.29	大分市	空手トレーニング事業	院長
1.30	大分市	2級ホームヘルパー講義	院長
2. 4	別府市	うつとその対応(こころの健康づくり講演)	臨床心理士
2.10	宮崎県宮崎市	医療安全研修会「患者暴言暴力への対応～模擬患者と共に事例に学ぶ～」	院長
2.14	別府市	嚥下障害患者と看護師の関わり	看護師長
2.18	大分市	大分県看護協会の講師	看護師
2.19	東京都	日本理学療法士協会による平成22年度通所系リハビリテーション研修会の講師「通所系リハと訪問リハの一体的サービスの提供の重要性とその効果」	PT
2.22	大野圏域	やさしく理解する地域リハビリテーション	リハ部長
2.23～25	大分県別府市	医療安全体制について	副看護部長
2.25	延岡市	包括的言語機能評価と日常生活評価	ST
2.27	由布市	ICFで繋ぐ介護サービス計画とリハ総合実施計画書	リハ技師長
3. 1	別府市	国際ライフ&メンタルコミュニケーション協会講師	院長
3. 7	大分市	嚥下アセスメントと摂食訓練	看護師長
3.11	大分市	大分県看護協会の講師	看護師
3.14	大分市	嚥下アセスメントと摂食訓練	看護師長
3.23	別府市	別府中央病院医療安全講義	院長
3.24	大分市	大分リハビリテーション専門学校において特別講義の講師「ICFの臨床的応用」	リハ副部長

#### IV. 研修会・学会、講演会等出席

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22.4. 9	大分市	大分県看護協会による社会経済福祉委員会	看護師
4. 9	福岡県福岡市	福岡国際医療福祉学院において平成22年度理学療法学科臨床実習指導者会議	主任PT
4.10	北九州市	北九州リハ学院において平成22年度臨床実習Ⅱ指導者会議	PT・OT
4.10～11	沖縄県	沖縄リハ福祉学院において理学療法学科平成22年度長期実習指導者会議	PT
4.16	長崎県大村市	長崎リハビリテーション学院において平成22年度言語聴覚臨床実習指導者会議	ST
4.17	大分市	高次脳機能障害特別講演会	院長
4.17	熊本市	熊本保健科学大学へ臨床実習指導者会議	主任PT
4.17	三重町	藤華医療技術専門学校へ平成22年度作業療法士学科臨床実習指導者会議	OT
4.17	大分市	大分リハビリテーション専門学校の平成22年度臨床実習指導者会議	ST
4.17～18	沖縄県	沖縄リハ福祉学院において平成22年度言語聴覚学科臨床実習指導者会議	ST
4.20	庄内町	第1回由布地区看護ネットワーク推進会議	看護部長
4.22	庄内町	地域ささえあい事業・地域支援事業等に係る事業者説明会	リハ技師他1名
4.22～24	兵庫県神戸市	第54回日本リウマチ学会総会	医師
4.23	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会・平成22年度第1回看護全体委員会	看護師長
4.23～24	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会・理事会・POS委員会	リハ部長
4.24	福岡県福岡市	麻生リハビリテーション専門学校において平成22年度言語聴覚学科臨床実習指導者会議	ST
4.24	大分市	大分県看護協会による平成22年度実習指導者講習会・講師運営委員合同打合せ会議	主任看護師
4.24	神戸市	神戸医療福祉専門学校須磨校による平成22年度言語聴覚科臨床実習指導者会議	ST
4.24～25	熊本県	九州看護福祉大学において平成22年度臨床実習指導者会議及びセミナーの開催	主任PT
4.24～2.12	大分市	平成22年度レクリエーション・インストラクター養成講習会	CW2名
5.7～9.24	大分市	第18回認定看護管理者教育課程ファーストレベル	主任看護師2名
5.14	大分市	第18回大分心臓リハセミナー	看護師
5.15	大分市	大分SP協議会総会	院長
5.17	大分市	中部圏域大分地域リハビリ広域支援センター実行委員会	主任PT
5.17～7. 9	大分市	平成22年度実習指導者講習会	看護師
5.18	大分市	老健協会第1回通常理事会・同第1回報行役員会	リハ部長
5.20～22	鹿児島市	第47回日本リハビリテーション医学会 学術集会	リハ部長他3名
5.21～22	東京都	公認スポーツファーマシスト認定制度基礎講習会	薬剤部長
5.22	福岡県福岡市	第3回医療関連感染対策セミナー	薬剤師
5.24	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第1回運営部会	MSW
5.25	大分市	平成22年度第1回大分脳卒中クリティカルパス情報交換会	副院長他4名
5.26	大分市	大分大学社会福祉援助技術現場実習及び精神保健福祉援助実習協議会	MSW
5.26～29	岐阜市	第45回日本理学療法学会大会	主任PT他4名
5.27～29	長崎市	第58回日本医療社会事業全国大会・第30回日本医療社会事業学会	MSW
5.29～30	東京都	平成22年度感染制御講習会(第1クール)	看護師他2名
6. 3	大分市	大分県急性心筋梗塞医療連携協議会	医師
6. 3	大分市	大分県看護研修センターにおいて専従リスクマネージャー会	副看護部長
6. 4～6	横浜市	第10回日本整形外科看護研究会学術集会	看護師2名
6. 4～7	大阪府	平成22年度認定輸血検査技師合同研修会	臨床検査技師
6. 5	福岡県福岡市	福岡国際医療福祉学院において平成22年度言語聴覚科臨床実習指導者会議	ST
6. 7～9	横浜市	第22回気管支鏡セミナー・第33回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	医師
6.10～12	札幌市	第12回日本医療マネジメント学会学術総会	主任PT他3名

6.10～13	仙台市	第44回日本作業療法学会	リハ部長他3名
6.14	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第2回運営部会	主任PT
6.15	庄内町	第2回由布地区看護ネットワーク推進会議	看護部長
6.16	豊後大野市	豊後大野市地域包括支援センター研修会	地域連携室長他2名
6.18～20	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 POS委員会・第18回リハスタッフ研修運営	リハ部長他3名
6.19～20	東京都	第10回日本健康栄養システム学会	主任栄養士
6.21	大分市	大分県スポーツ学会・運営委員・専門委員会	リハ部長他5名
6.21～22	長崎市	長崎リハビリテーション病院へ歯科衛生士の業務の実際と医科～歯科連携等の見学研修	リハ副部長他1名
6.22	由布市庄内町	第3回由布物忘れネットワーク研修会	OT・CM2名
6.22～27	さいたま市大宮	第11回日本語聴覚学会	リハ副部長他4名
6.23	庄内町	福祉施設栄養士研修会	主任栄養士
6.25～26	東京都	全国回復期リハビリテーション病棟研修会・第3回病棟師長研修会	看護師長
6.25～27	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 平成22年度第30回全職種研修会	看護師他3名
6.25～27	仙台市	第51回日本心身医学会総会ならびに学術講演会	医師2名
6.26～27	札幌市	平成22年全国地域リハビリテーション合同研修会 札幌	リハ部長他1名
6.26～27	大分市	第3回大分DMAT隊員養成研修	看護師2名
6.30	三重町	大分県豊肥圏地域連携作業部会	主任PT他1名
7. 1～4	東京都	第26回放射線技師総合学術大会・第15回東アジア学術交流会	主任放射線技師
7. 2～4	東京都	平成22年度全国回復期リハ病棟連絡協議会・第19回PT・OT・ST研修会	リハ部長他3名
7. 3～4	佐世保	響き合いネットワーク長崎SP研修会・長崎国際大学薬学部見学	薬剤部長
7. 3～7	大分市	新人看護職員研修責任者研修	看護師長
7.3・8.3・4・21・22	大分市	平成22年度大分県介護支援専門員更新研修(更新課程Ⅰ)	介護支援専門員
7. 9～11	広島市	医療薬学フォーラム2010	薬剤部長
7. 9～11	福井市	第22回日本嚔下障害臨床研究会	看護師長
7.11・24・25	大分市	介護支援専門員(更新)研修課程Ⅱ 居宅	介護支援専門員2名
7.14	庄内町	平成22年度由布市介護予防研修会	介護支援専門員他2名
7.14	大分市	平成22年度大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会・第1回役員会	MSW
7.16～18	鹿児島市	第16回日本心臓リハビリテーション学会学術大会	医師他5名
7.16～18	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 平成22年度SW研修会	MSW2名
7.17～19	東京都	心臓リハビリテーション学会	医師
7.22	大分市	地域診療情報連携支援システム説明会	副院長他1名
7.22～23	岐阜県	第60回日本病院医学会	院長他8名
7.23	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第3回運営部会	MSW
7.23	大分市	県老健協会 平成22年度第1回施設サービス委員会	リハ部長
7.24	大分市	大分県看護協会理事・常任委員・特別委員会	看護師
7.24～25	福岡県福岡市	日本作業療法士協会における研修会	リハ部長他1名
7.28	庄内町	大分県中部保健所において管内栄養士研修会	栄養士
7.29	別府市	(社)大分県老人保健施設協会による平成22年度栄養・給食部会研修会	主任栄養士
7.30	大分市	大分県回復期リハ病棟連絡協議会	副院長他4名
7.30～8.1	東京都	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長他2名
8. 5	大分市	第1回大分県脳卒中回復期・維持期地域連携推進協議会	院長
8. 6～8	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 平成22年度第8回医師研修会	医師
8.10	大分市	大分県福祉保健部による介護職員処遇改善セミナー	リハ技師長
8.17	庄内町	第3回由布地区看護ネットワーク推進会議	看護部長
8.20～22	大阪府	平成22年度第32回全職種研修会	MSW他2名
8.20・9.17・10.15	大分市	大分県看護協会において社会経済福祉委員会	看護師
8.21～22	福岡市	全国回復期リハ協議会 第23回看護介護研修会	看護師長他3名
8.27～29	東京都	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長
8.27～29	名古屋市	第15回日本摂食・嚔下リハビリテーション学会学術大会	医師
8.28～29	大分市	大分市医師会アルメイダ病院緩和ケア研修会	副院長
8.29	別府市	県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	院長
8.30	大分市	県老健協会 第2回施設サービス委員会	リハ部長
8.30	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第4回運営部会	主任PT
9. 1	狭間町	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長他1名
9. 2～5	新潟市	第16回日本摂食嚔下リハビリテーション学会学術大会及びポストコングレスセミナー	リハ副部長他4名
9. 3～4	東京都	第33回総合リハビリテーション研究大会	リハ部長他6名
9. 3～5	東京都	医薬品安全管理研修会2010	薬剤師
9. 3～5	東京都	平成22年度第33回全職種研修会	OT・ST・CW
9. 3～5	仙台市	日本心理臨床学会 第29回秋季大会	臨床心理士
9.3・4・11	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
9. 7	大分市	第11回大分県スポーツドクター協議会研修会	院長
9. 8	大分市	居宅介護支援事業所管理者会議	リハ技師長
9. 8～10	京都府	第34回日本神経心理学学会総会	医師
9.11	宇佐市	平成22年度地域リハ従事者研修会	リハ技師長
9.11～12	福岡市	日本病態栄養学会 NSTセミナー	医師

9.11~12	別府市	第45回九州医学検査学会及び臨床検査フェア	臨床検査技師2名
9.12~15	東京都	平成22年度回復期リハ看護師認定コース第4期第1回	看護師他3名
9.14	大分市	大分県立病院にて地域医療連携実習	副看護部長他1名
9.16~18	京都府	第24回手術室看護学会	看護師
9.16~19	東京都	第58回日本心臓病学会学術大会	医師
9.17~18	東京都	第37回看護研修会	看護師2名
9.19~20	下関市	第72回九州山口薬学会	主任薬剤師
9.19~20	松山市	日本禁煙学会	医師
9.20~21	長崎市	第3回九州心臓リハビリテーション研究会	医師
9.21	挾間町	大分大学医学部付属病院へ大分県脳卒中クリニカルパス情報交換会	副院長他3名
9.24	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第5回運営部会	MSW
9.24~26	東京都	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長他1名
9.25	北九州市	九州リハビリテーション大学校において平成22年度臨床実習指導者会議及び研修会	PT・OT
9.25~26	福岡市	全国回復期リハ病棟連絡協議会による平成22年度第34回全職種研修会	医師他3名
9.25~26	宮崎市	九州・山口口腔ケアシンポジウムin宮崎	ST他1名
9.27	大分市	平成22年度大分県介護予防市町村支援委員会 第1回運動機能向上専門部会	副院長
9.28	三重町	大分県豊肥圏域脳卒中地域連携システム第2回作業部会	主任PT他1名
9.28・10.19	挾間町	オレンジパスポートプロジェクト会議	主任看護師他1名
9.30~10.1	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 第20回PT・OT・ST研修会	リハ部長他2名
9.30~10.3	群馬県	日本肥満学会	医師
10. 1~2	横浜市	日本難病医療ネットワーク研修会	院長
10. 3	大分市	第17回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター研修会	リハ技師長
10. 4	大分市	キャリアパスリーダー養成講座	CW8名
10. 6	庄内町	保健所圏域別認知症地域支援推進会議	副院長他2名
10. 6~7	別府市	第41回日本看護学会一成人看護学Ⅰ一学術集会	看護部長他10名
10. 6~8	札幌市	第48回日本社会保険医学会総会	PT他6名
10.8~9	大分市	第27回日本心電学会 学術集会	医師
10.8~10	東京都	平成22年度 回復期全職種研修会	看護師他3名
10.8~10	神戸市	平成22年度固定チームナーシング全国研究集会	看護師長他1名
10.8~11	東京都	平成22年度訪問リハビリテーション管理者研修会	PT
10.12	大分市	大分県スポーツ学会運営専門合同会議	リハ部長他4名
10.15~16	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
10.16・17・19・21	大分市	第2回新人看護職員研修責任者研修	主任看護師他1名
10.18	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第6回運営部会	主任PT
10.20~23	山形市	リハビリテーションケア合同研究大会in山形2010	院長他14名
10.22~24	東京都	日本医療マネジメント2010年度医療福祉連携講習会	副看護部長他1名
10.23	大分市	大分県看護連盟による第3回若手会員委員会	看護師2名
10.23~24	熊本県高森町	2010年度温泉療法医学九州地方研修会	医師
10.25~27	新潟市	日本看護学会一看護管理一	主任看護師2名
10.26	庄内町	第3回由布地区看護ネットワーク推進会議	副看護部長
10.27~29	福岡市	日本脳神経外科学会総会	医師
10.28	大分市	大分県介護予防市町村支援委員会	院長
10.29~30	別府市	第48回日本糖尿病学会九州地方会	医師他2名
10.31~11.7	東京都	平成22年度回復期リハ看護師認定コース第2回目	看護師師長他2名
11. 5	大分市	キャリアパスリーダー養成講座	CW8名
11. 5~6	佐賀市	日本医療マネジメント学会 第9回九州・山口連合大会	医師他12名
11. 5~7	茨城県	日本臨床スポーツ医学会	院長
11. 7	挾間町	第20回大分県リハビリテーション医学会	PT・OT
11.11	別府市	第9回地域医療連携懇話会	副院長
11.11	別府市	平成22年度調理研修会	栄養士・調理師
11.12~13	神戸市	NPO法人日本リハビリテーション看護学会 第22回学術大会	看護部長他7名
11.12~14	千葉県	第20回日本医療薬学会年会	薬剤部長
11.13	福岡市	第21回がん患者のQOL推進事業講習会	副院長他1名
11.13~14	挾間町	大分県医師臨床研修指導医講習会	医師
11.13~14	東京都	平成22年度感染制御講習会(第2クール)	看護師他2名
11.18~20	東京都	第38回日本頭痛学会総会	医師
11.18~20	大宮市	第34回日本高次脳機能障害学会	看護師・OT
11.19~20	岡山市	第15回日本心療内科学会総会・学術大会	医師
11.19~20	延岡市	平成22年度作業療法学科臨床実習指導者委員会	OT
11.19~21	大阪府	平成22年度第36回全職種研修会	PT他3名
11.19~21	那覇市	第47回九州医療ソーシャルワーカー研修会沖縄大会	MSW
11.19~21	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
11.20~21	熊本市	第5回九州放射線医療技術学術大会	放射線技師
11.21	別府市	大分県病院協会学会	院長
11.24	中津市	第7回北部圏域中津地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	リハ部長

11.25	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第7回運営部会	MSW
11.26～27	静岡県熱海市	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会・平成22年度第2回病棟師長研修会	看護師長
11.26～28	沖縄県宜野湾市	第32回九州理学療法士・作業療法士合同学会	PT他3名
11.27～28	福岡市	栄養ケアチーム指導者研修会	主任栄養士
11.28～29	岡山県	第3回医療コミュニケーションフォーラムin岡山	薬剤部長
12. 2～5	東京都	第3回訪問リハビリテーション管理者研修会STEP2	PT
12. 4～5	鹿児島市	社会福祉士実習指導者講習会	MSW
12. 7	大分市	平成22年度大分地域介護認定審査会委員現任研修会	OT
12. 8	庄内町	平成22年度介護保険認定調査員現任研修	介護支援専門員
12.10～12	東京都	平成22年度第37回全職種研修会	PT他3名
12.11～12	東京都	2010年社会福祉士共通基盤研修リーダー養成研修	MSW
12.11～12	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
12.12～14	神戸市	平成22年度院内感染対策講習会	薬剤部長他1名
12.15	大分市	大分県回復期リハ病棟連絡協議会 地域連携バス研修会	MSW
12.16～19	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会PT・OT・ST委員会及び第21回PT・OT・ST研修会	リハ部長他2名
12.17	大分市	キャリアパスリーダー養成講座	CW7名
12.23	大分市	第2回大分県スポーツ学会 学術集会	GT他6名
H23. 1. 7	大分市	キャリアパスリーダー養成講座	CW9名
1. 9～15	東京都	平成22年度回復期リハ看護師認定コース第3回目	看護師長他2名
1.14～16	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 リハ看護師認定研修	看護師長
1.15	大分市	平成22年度摂食・嚥下セミナー反省会	リハ副部長
1.18	三重町	豊肥圏域脳卒中地域連携作業部会	主任PT他1名
1.23	大分市	公認スポーツファーマシスト認定制度実務講習会	薬剤部長
1.25	大分市	大分県スポーツ学会運営委員・専門委員会合同会議	GT2名
1.27～2.17	大分市	平成22年度介護支援専門員実務従事者基礎研修	介護支援専門員
2. 3	別府市	大分県回復期リハ病棟連絡協議会 地域連携バス委員会研修会	看護師長他2名
2. 5～6	東京都	平成22年度感染制御講習会(第3クール)	看護師他2名
2. 7	庄内町	介護予防支援従事者研修及び保健所圏域介護予防検討会	PT2名
2.10～13	東京都	第3回訪問リハビリテーション管理者研修会STEP3	PT
2.15	大分市	キャリアパスリーダー養成講座	CW6名
2.15	豊後大野市	豊肥圏域脳卒中地域連携システム作業部会	主任PT他1名
2.18～19	長崎県	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第17回研究大会in長崎	副院長他16名
3. 4～5	東京都	日本リハビリテーション病院施設協会主催 平成22年度第3回リハビリテーション研修会	リハ部長他1名
3. 4～6	東京都	回復期リハ病棟連絡協議会 全職種研修会	PT・OT
3.11	大分市	大分県医師会による平成22年度医事紛争講演会	副院長
3.14	大分市	第2回大分県介護予防市町村支援委員会	院長
3.16	大分市	大分県地域リハ調整連絡協議会スキルアップ研修会	院長

#### V 看護・介護実習生受け入れ

期日	内容	受入先	受入延人数
H23.4.14～21	1年次早期体験	大分大学医学部医学科	20
5.10～28	5年生実習(専攻科)	大分東明高等学校看護科	10
6.21～7.2	総合実習8期生	大分県立看護科学大学	
7. 7～9	初期体験実習	大分県立看護科学大学	
7.20～23・26	1年次基礎看護	大分大学医学部看護学科	15
7.26～8.6	2年生実習	昭和学園高等学校看護学科	20
8.30～10.1	4年生実習(専攻科)	大分東明高等学校看護科	10
9. 6～17	4年生総合	大分大学医学部看護学科	5
10.12～22	2年生実習	昭和学園高等学校看護学科	20
11.8～12.3	2年生実習(専攻科)	大分東明高等学校看護科	10
12. 6～17	3年生実習	昭和学園高等学校看護学科	20

#### VI.リハ実習生受け入れ

##### 1)理学療法

期日	学年	受入先	受入人数
H22.4.5～5.28	4学年長期実習	島根リハビリテーション学院	1
4.19～ 6.26	3学年長期実習	九州リハビリテーション大学校	1
5.10～ 7. 3	3学年長期実習	北九州リハビリテーション学院	1
5.10～ 7.17	4学年長期実習	熊本リハビリテーション学院	1
6. 7～ 7.24	4学年長期実習	鈴鹿医療技術大学	1
6.28～ 8. 6	4学年長期実習	熊本保健科学大学	1
7. 5～ 8.28	4学年長期実習	九州看護福祉大学	1
7.20～ 9.25	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
7.26～ 9.25	3学年長期実習	福岡国際医療福祉学院	1
8. 2～10. 9	3学年長期実習	沖縄リハビリテーション福祉学院	1

8. 2～10.16	3学年長期実習	藤華医療技術専門学校	1
8. 9～10. 2	4学年長期実習	九州中央リハビリテーション学院	1
H23.2.21～3.19	2学年評価実習	大分リハビリテーション専門学校	1

## 2) 作業療法

期日	学年	受入先	受入人数
H22.4.19～6.19	3学年長期実習	九州リハビリテーション大学校	1
4.19～6.26	4学年長期実習	県立広島大学 保健福祉学部	1
5.10～6.19	4学年長期実習	熊本保健科学大学	1
5.10～7. 3	3学年長期実習	北九州リハビリテーション学院	1
5.10～7.17	4学年長期実習	帝京大学 福岡医療技術学部	1
5.10～7.24	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
5.24～7.24	4学年長期実習	九州保健福祉大学 保健科学部	1
7.12～8.28	4学年長期実習	長崎大学 医学部保健学科	1
8.16～10. 8	4学年長期実習	国際医療福祉大学	1
8.23～10. 2	4学年長期実習	熊本医療総合リハビリテーション学院	1
10.18.～10.23	3学年長期実習	熊本医療総合リハビリテーション学院	1
10.18～10.30	3学年評価実習	姫路獨協大学	1
H23.2.14～2.26	2学年評価実習	藤華医療技術専門学校	1
2.28～3. 5	2学年評価実習	熊本医療総合リハビリテーション学院	1
3. 7～3.25	3学年評価実習	医療福祉専門学校 緑生館	1

## 3) 言語療法

期日	学年	受入先	受入人数
22.4.12～6.5	4学年長期実習	聖隷クリストファー大学	1
4.12～6. 5	3学年長期実習	琉球リハビリテーション学院	1
5.10～6. 5	2学年評価実習	大分リハビリテーション専門学校	1
5.10～7. 3	3学年長期実習	沖縄リハビリテーション福祉学院	1
5.31～7.24	4学年長期実習	神戸医療福祉専門学校須磨校	1
5.31～7.24	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
6. 7～8. 2	2学年長期実習	大阪医療技術学園専門学校	1
7.12～9. 4	3学年長期実習	大分リハビリテーション専門学校	1
7.12～9. 4	3学年長期実習	沖縄リハビリテーション福祉学院	1
7.20～9.10	3学年長期実習	長崎リハビリテーション学院	1
8.16～10. 9	3学年長期実習	柳川リハビリテーション学院	1
8.23～10.16	3学年長期実習	神戸医療福祉専門学校須磨校	1
8.30～10.23	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
9.13～10.23	4学年長期実習	国際医療福祉大学	1
9.27～11.24	2学年長期実習	大阪医療技術専門学校	2
10. 4～11.12	4学年長期実習	広島県立大学	1
10.18～12.11	2学年長期実習	福岡国際医療福祉学院	1
23.1.11～1.22	2学年評価実習	国際医療福祉大学(福岡リハ学部)	1
2.14～3. 5	2学年評価実習	柳川リハビリテーション学院	1

## VII 施設見学

期日	見学受入先	見学人数
H22. 4.12～23	社会医療法人 関愛会	1
5. 6～7	南海社会保険介護老人保健施設 サンビュー南海	1
5. 7	大分岡病院	3
5.10～7.28	介護老人保健施設 いでゆの園	1
5.10～3.31	大分記念病院	1
5.11	大分リハビリテーション専門学校 言語聴覚士科1年	34
5.17～6. 5	川島整形外科病院	10
5.26	宮崎市穂北地区民生・児童委員協議会	20
6.14	藤華医療技術専門学校理学療法学科1学年	32
6.21	藤華医療技術専門学校作業療法学科1学年	31
6.21	ソウル大学学部生・大分県立看護科学大学教員	11
7. 1～9.30	医療法人 堀田医院	1
7. 5	サンテール千葉	3
7. 7～9	由布市立湯布院中学校 職場体験学習	
7.22・26・27	平松学園大分介護福祉専門学校2年生	4

7.29	大分県立由布高等学校3年生	
8.3	福岡国際医療福祉学園言語聴覚学科1学年	1
8.4	専門学校 柳川リハビリテーション学院 理学療法学科2年	1
8.6	大分岡病院	7
8.20	リハビリテーションカレッジ島根 理学療法士学科4年	1
8.20	長崎リハビリテーション学園 言語療法学科2年	1
9.13	熊本保健科学大学	
9.14	社会福祉法人 直心会	3
9.28	大分県歯科衛生士会	
10.4~6	医療法人 博仁会	2
10.12	農協共済別府リハビリテーションセンター	3
10.15	宮崎市 民生・児童委員会協議会	
10.25	北九州リハビリテーション学院作業療法学科	26
10.27	三重地区民生児童委員協議会	6
10.27	臼杵市医師会 介護老人保健施設 南山園	4
11.4	医療法人天神会 古賀病院	4
11.8	北九州リハビリテーション学院理学療法学科	31
12.7	玖珠郡玖珠町 医療法人 純和会	
2.2	津久見市医師会津久見中央病院 看護師	1
2.17	聖テレジア病院 医療ソーシャルワーカー	1
3月中旬	日本社会事業大学 医療ソーシャルワーク3年生	1
3.30	大分リハビリテーション専門学校 理学療法士	1

## 転倒予防プロジェクト班活動報告

### (1) H22年度 転倒予防教室の開催

	開催日時	場 所	対 象	参加者
1	H22年6月15日(火)	湯布院町 畑公民館	湯布院町畑地区住民	25名
2	H22年7月22日(木)	別府市 茶寿苑	別府市 鉄輪地区住民	26名
3	H22年10月7日(火)	湯布院町湯平ふれあいホール	湯布院町湯平地区住民	25名
4	H22年11月16日(火)	湯布院厚生年金保養ホーム	保養ホーム入所者	13名
5	H22年11月25日(木)	宇佐市 さんさん館	宇佐市住民	23名
6	H23年2月15日(火)	湯布院厚生年金保養ホーム	保養ホーム入所者	21名
7	H23年2月23日(水)	宇佐市農村交流センター	院内町住民	27名
8	H23年3月2日(水)	宇佐市農村交流センター	院内町住民	23名

### (2) H22年度 地域支援事業

開催日時	場 所	対 象	参加者
湯布院町(1クール目)			
H22年10月19日(水)	(初回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	6名
H21年11月16日(水)	(第2回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	6名
H22年12月28日(水)	(第3回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	5名
湯布院町(2クール目)			
H23年1月18日(火)	(初回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	5名
H23年2月15日(火)	(第2回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	3名
H21年3月29日(火)	(第3回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	6名



## 山ぼうしの会活動報告

日 時：平成 22 年 6 月 13 日

場 所：ひびきの里（日田市大山町）

参加数：24 名

内 容：糖尿病についての勉強会

午前は日田市大山町ひびきの里にて、カンバセーションマップを用いてディスカッション方式で糖尿病について勉強会を行った。カンバセーションマップは「インスリン治療」、「運動と食事」、「糖尿病と共に歩む」、「糖尿病とはどんな病気ですか」の 4 つに分かれている。

今回は「インスリン治療」、「運動と食事」、「糖尿病と共に歩む」の 3 グループに分け、実施した。グループ分けは事前に患者の糖尿病歴やインスリン使用状況等を考慮し行った。

1 グループ、患者さんが 8 人、スタッフ 3～4 人に分けてカンバセーションマップを囲みすごろくのような要領でディスカッションを行った。スタッフの 1 人が司会進行を行い、参加者が活発にディスカッションできるよう色々な質問を投げかけた。

1 時間程カンバセーションマップを行い、その後は同敷地内にある食事場所で糖尿病患者に合わせて準備した昼食をとった。

昼食後、希望者はカンバセーションマップを再度行い、他の参加者は梅酒作りを行った。



## 医科-歯科連携の構築

高齢者で脳卒中などを発症し在宅で医療・介護を受ける人が歯科疾患を発症するケースが多く、在宅歯科医療の必要性が増している。このことは、かかりつけ医、訪問セラピストあるいは訪問看護師等のチームに歯科医師が加わることを意味する。しかし、これまでは相互の連携が円滑に行われる状況には必ずしもなかった。ニーズの高まりに応じ、在宅歯科医療を実施する歯科医師が増え、医療保険制度の後押しや厚生省医政局歯科保健課の施策も充実してきたことから医療関係者と歯科医療関係者との連携は急速に進むものと思われる。

また、在宅での連携が深まるにつれ、急性期や回復期での医科歯科連携の重要性についてもその認識が高まりつつある。病院と介護施設のNSTにおいて、歯科関係者が加わって成果を上げる事例が見られるようになり、介護保険に引き続き医療保険においても歯科関係者が明確に位置づけられるようになった。このように、医科歯科の医療連携を中核とした歯科医師のチーム医療での役割は、急性期、回復期そして在宅医療の場で急速に重要性を増してきている状況にある。

### 【ゆふ医科歯科連携システムについて】

当院においても入院してきた患者が、様々な歯科領域に関する問題を抱えている場合も多く、町内の歯科医院に訪問歯科診療を依頼し対応してきた。しかし、歯科医院の医師も自らの診療の傍ら限られた時間を調整していたこともあり、依頼から訪問まで時間がかかることや家族との調整で特に診療費等でトラブルになる事例もあったようである。また、リハチームの一員としての介入が求められている中であって、必要な連携が取れていたとは言いがたい状況であった。

そこで、医科歯科連携システムを図1.のように構築し、上述に示した問題の解消のみならず、地域福祉に根ざした水平的なネットワークを構築し、基本方針を図2.のごとくとし、地域リハビリテーションや介護予防を推進していくこととなった。

図1. ゆふ医科-歯科連携システム  
(大鶴歯科医師会 - 湯布院厚生年金病院)

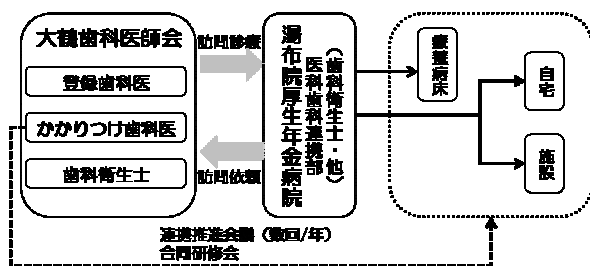


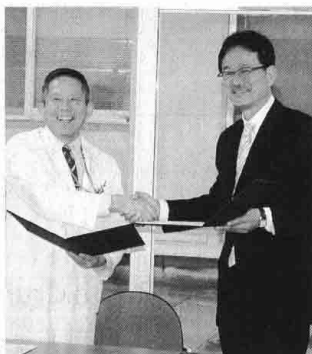
図2. 医科 - 歯科連携の基本方針

- ・医科-歯科連携により、入院患者の口腔疾患の改善、口腔ケアの啓発と徹底、誤嚥性肺炎および窒息事故等の発生を防止し、その後の医療を円滑に行うことに貢献するとともに、摂食・嚥下障害や口臭などに対する専門的な医療対応を当院の医師や他のスタッフの協力を得て行い、患者のQOLに貢献する。
- ・医科-歯科それぞれが完結型の在宅医療を目指すのではなく、在宅医療チームとして連携し、口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーションに取り組む。
- ・医科-歯科連携を前提とした在宅栄養管理の実現する。
- ・医科-歯科連携を前提とした顔の見える、地域福祉に根ざした水平的なネットワークを構築し、地域リハビリテーションや介護予防を推進する。

### 湯布院厚生年金病院

由布市湯布院町の湯布院厚生年金病院（森照明院長）と大分、由布両市の歯科医でつくる大輪歯科医師会（山原幹正会長）は4月から、入院患者の口腔ケアを行う「ゆふ医科歯科連携システム」を始めた。今後、登録した5人の歯科医が病院と協力し、患者の歯科治療に関わる。

### 地元の歯科医師会



県内で初の連携システム

## 入院患者に口腔ケア

ゆふ医科歯科連携システムの覚書にサインし、握手する湯布院厚生年金病院の森照明院長（左）と大輪歯科医師会の山原幹正会長

### リハビリ期をサポート

3月31日に覚書の調印  
同病院内では、月に歯学が一緒になり、リハビリ医療の臨床や研究を進める「先進リハビリテーション・ケアセンター」湯布院を立ち上げており、リハビリテーション部の森淳一（副部長）は「新システムとケアセンターが連携することで、患者や症状に合った効果的なりハビリ法を確立していきたい」と話した。

湯布院厚生年金病院は国内有数のリハビリ病院で、脳卒中などの後遺症で多くの患者がリハビリを受けている。システムでは、登録歯科医師や歯科衛生士、言語聴覚士らと連携し、曜日や時間帯ごとに診療を分担。かみ合わせや口の衛生状況を改善することで、リハビリ期の機能回復を支える。

3月31日にゆふ医科歯科連携システム覚書の調印式が行われ（左図、大分合同新聞より）、県内では初めての取り組みとして、4月より正式にスタートすることになった。

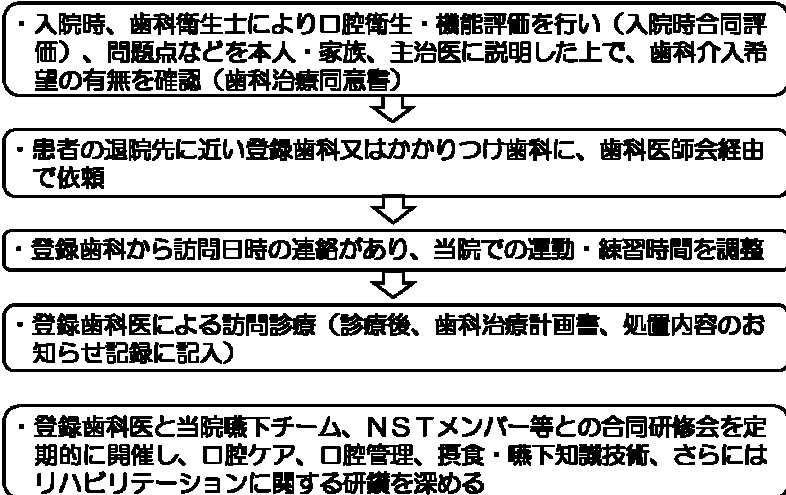
### 【訪問歯科診療の基本的流れについて】

入院時合同評価にて歯科介入の必要性が主治医のもと確認された場合、本人及び家族に説明（歯科治療同意書）した上で、歯科診療願にて依頼を行う。この際、患者の退院先に近い登録歯科又はかかりつけ歯科に依頼する。その後、登録歯科から訪問日時の連絡が当院にあり、歯科衛生士が中心となり訪問日の患者のスケジュール調整を行っている。訪問歯科診療後は、初診時に歯科治療計画書を歯科医師が作成し、その後も介入した際には処置内容や次回の予定など記録する（図3、4.）。職員への口腔ケアに対する意識や技術の向上が期待でき、また、歯科診療時に言語聴覚士などが同席し情報交換することはもとより、重要なことは、リハチームと歯科医との橋渡しを歯科衛生士が行うことで、単にむし歯の治療や義歯作成を行うだけでなく、食べるため、しゃべるため、あるいはADLを向上させるための取り組みがより一層深まっていくこととなる。今後は、登録歯科医と当院関係者との定期的な運営会議や合同研修会を開催し知識技術の共有化を図っていく予定としている（図1.）。

図3. 訪問歯科診療の基本的流れ

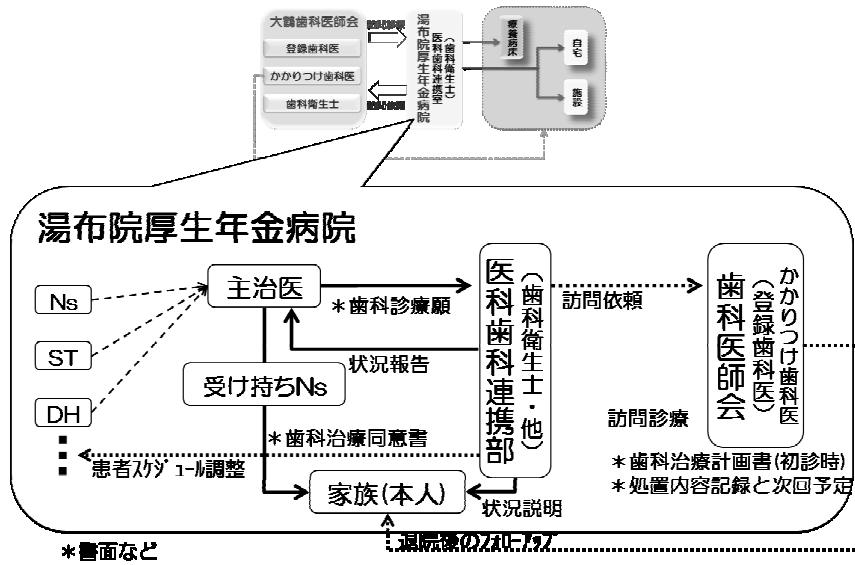
### 【医科歯科連携運営部】

当院での医科・歯科連携の窓口、その他の事務調整を担う部門として、病院長の統括のもと医科歯科連携運営部（以下、運営部）を置くこととした。運営スタッフは歯科衛生士及び医局、看護部、リハビリテーション部から病院長が指名する職員若干名をもって構成し、医科歯科連携の調査・研究および連



携を推進する。また、月に1回程度運営部会を開催し、より円滑な連携にむけ調整業務を行う予定としている。

図4. 医科-歯科連携イメージ



【歯科衛生士の業務について】

歯科衛生士の業務は、歯科医師の指導の下に歯科診療補助、歯牙及び口腔疾患の予防処置を行うことに加えて、歯科衛生士の名称を用いて歯科保健指導を行うものと定められている。現在では社会情勢の変化や国民の健康に対する関心の高まりから、中心業務が歯科保健指導へと重点が移行してきた。また、歯科衛生士による専門的口腔ケアの有効性が実証され、誤嚥性肺炎の予防、摂食・嚥下機能の回復に伴う栄養状態の改善や意識レベルの改善さらにはADLやQOLの向上に繋がる事が報告されている。

当院での歯科衛生士の基本業務を図6.に示す。特に1-IIの登録歯科と主治医をはじめとした当院リハチームとの橋渡しとしての役割は大きいものと考えられる。



# 大分県介護予防・転倒予防研究会活動報告

## <今年度の研究会活動>

平成16年10月に結成された本研究会は、平成22年度より「転倒予防教室研究会」から「大分県介護予防・転倒予防研究会」と名称を変更した。

平成23年3月末現在、会員数は65名であり今年度1回の研修会を実施した。

## <研修会報告>

### 第1回大分県介護予防・転倒予防研究会 研修会

開催日：平成22年6月12日（土）9：50～12：30

場 所：湯布院厚生年金病院 教育室

参加者数：104名

内 容：講 演：「介護予防事業の成果と今後の課題について」

講 師： 東京都老人総合研究所 大 沢 修一 先生

活動報告（5施設）

- ・ 宇佐市院内支所
- ・ 由布市社会福祉協議会 湯布院事務所
- ・ 九重町地域包括支援センター
- ・ 国東市民病院
- ・ 湯布院厚生年金病院



各圏域からの活動報告



講師 大沢 修一先生

本研究会は平成 18 年 12 月 3 日に発足し、平成 23 年 5 月現在での会員数は 217 名である。

主な活動は年に 2 回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、年に 3~4 回食リハニュースを発行している。

## <本年度研究会活動報告>

### おおいた食のリハビリテーション研究会 第 7 回研修会

日 時：平成 22 年 6 月 20 日(日)

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9:00 ~ おおいた食のリハビリテーション研究会事業・決算報告

9:40 ~ 研究報告会

座長：おおいた食のリハビリテーション研究会 世話人 森 淳一

世話人 三浦晃史

1. 低栄養に関する要因の検討

明野中央病院 栄養士 中村佳子

2. アレルギー除去食のチェック体制の確立

別府発達医療センター 栄養士 東 知世

3. 摂食嚥下困難者に対するの取り組み

なおみ園 栄養士 河合貴代

4. 病院の食支援における歯科衛生士の役割

別府児玉病院 歯科衛生士 有松ひとみ

5. 在宅歯科訪問における食支援

県庁歯科診療所 歯科衛生士 友枝康代

6. 神経筋疾患患者の”口から食べる楽しみ”を安全に継続できる為の関わり

西別府病院 看護師 阿南静子

7. 知的障害者の口腔の実際 - 支援員の取り組みと課題 -

なおみ園 介護福祉士 竹内聡子

8. 家族の不安軽減が図れた 1 症例について

湯布院厚生年金病院 言語聴覚士 平野由梨依

9. 拒食傾向にあった症例との関わりを通して

湯布院厚生年金病院 言語聴覚士 津山美鈴

10. 開口困難な症例に対して吸引カテーテルを使用した

経口摂取方法が有効であった 1 例

湯布院厚生年金病院 言語聴覚士 木村暢夫

11:50~ 講演会「オーラルマネジメント」

講師：松成歯科医院 副院長 松成康男先生

座長：おおいた食のリハビリテーション研究会 代表世話人：衛藤 宏

#### 第4回摂食・嚥下セミナー(共催 大分県社会福祉介護研修センター)

目的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がる。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっている。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催している。

日時：①平成22年7月2日(金)、②平成22年7月8日(水)、  
③平成22年7月15日(水)、④平成22年7月21日(水)、  
⑤1班 平成22年7月28日(水)、2班 平成22年7月29日(木)  
⑥1班 平成22年8月4日(水)、2班 平成22年8月12日(木)  
※⑤⑥日目の実習は2班に分かれて開催した。  
⑦平成22年8月19日(木) 計7日間

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員等

会場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

#### おおいた食のリハビリテーション研究会 第8回 研修会・講演会・交流会

日時：平成23年3月27日(日)

場所：大分県社会福祉介護研修センター

9:00 ～ 受付

10:00 ～ 「食べることを考える」

～何のために？誰の為に？食べさせるのは誰の役割？

安全に食べる・食べさせるとは？～

佐賀社会保険病院 リハビリテーション科 部長 本多知行先生

11:30 ～ 研修・交流会

評価・訓練方法の実演・体験コーナー、

嚥下食の紹介と作り方コーナー、口腔ケアの実演と体験コーナー、

食べ方・食べさせ方の実演コーナー、

姿勢・ポジショニングコーナー、相談コーナー、

その他関連企業展示など



## 広報誌「おおいた食リハニュース」発行

○第1巻11号 平成22年5月19日発行

特集：口腔ケアについて

○第1巻12号 平成22年8月5日発行

特集：第7回研修会での研修報告会の内容

○第1巻13号 平成23年3月2日発行

特集：情報提供書に関するアンケート結果  
介護食のレシピ

第1巻11号 H22.5.19 発行


**おおいた食リハニュース**  
しよく  
 発行元：おおいた食のリハビリテーション研究会  
編集：湯布院厚生年金病院 リハビリテーション部 言語訓練室  
 TEL.0977-84-3171 (229)  
 (社)大分県栄養士会、大分県歯科衛生士会、大分県介護福祉士会、大分県言語聴覚士会

---

☆☆☆☆☆ 今回のテーマは… **口腔ケア** ☆☆☆☆☆

口腔の疾病予防・健康保持・増進・リハビリテーションによりQOLの向上を目指した科学であり技術です。具体的には、検診、口腔清掃、義歯の着脱と手入れ、咀嚼・摂食・嚥下のリハビリ、歯肉・頬部のマッサージ、食事の介護、口臭の除去、口腔乾燥予防などがあります。今回は「口腔清掃」「義歯の手入れ」「口腔乾燥」についてお話します。

**口腔清掃**

高齢になると歯茎が退縮し、歯の根っこが出てくる症状が多くなります。そのまま強い力で歯磨きすると、歯茎の部分が削られて知覚過敏になったり痛みがでます。また、入れ歯の方は、残存歯と入れ歯の間が不潔になると虫歯になりやすくなります。虫歯や歯周病は歯磨きの習慣を守れば予防できる病気です。口の中の衛生に注意して毎日きちんと行いましょう。

①お口の状態にあった歯ブラシを選びましょう。  
 ②歯と歯の間に毛先を45度の角度であてて、小刻みに振動させます。  
 ③食後のブラッシングが効果的。特に夜のブラッシングは丁寧に!!  
 ④デンタルフロスや歯間ブラシを利用して歯の隙間も丁寧に手入れをしましょう。  
 ⑤フッ素配合の歯磨き剤を使用することで、虫歯の発生・進行を予防

**口腔ケアの実施手順**

1) 全身状態の把握	6) 口腔内観察
2) 声掛け(説明・同意)	7) ケア：保湿 →うがい(清拭)→歯磨き→義歯の清掃・粘膜の清掃 →舌の清掃→うがい(清拭)→保湿
3) 用具の準備	8) 終了後の確認(全身状態 口腔内)
4) 体位の確保	
5) 緊張をとる	

●自分で出来る口腔ケアの工夫●

- 握る力が弱っている人や、障害がある人が、お口の清掃を行う時に、なるべく自分で行えるよう、身近にあるものを使って、口腔ケアの用具に工夫を加えてみましょう
- 握力が弱くなり、歯ブラシが握りにくい場合は、タオルやスポンジを巻いたり、ゴムホースをかぶせたりして柄を太くします。
- 手が動かさにくく、口まで歯ブラシが届かない場合は、割り箸などをテープで巻いて柄の長さを調整します。
- 麻痺がなどあり、両手で入れ歯を洗えない場合は、手洗い用のブラシの裏に吸盤を取り付け、洗面器などに固定して、その上で入れ歯を動かしながら清掃します。

—ロメモ① 変形可能な歯ブラシ？

手や指、ひじ、肩などの障害や握力不足などで歯ブラシをうまく使えなくなった人の為に、形状記憶歯ブラシが市販されています。ボウルなどに70度のお湯を入れ、形状記憶ポリマーでできた柄の部分を3分間つけておくとゴム状になり、自分の使い方にあう形に簡単に変形することができます。水につけるとかたまります。

—ロメモ② 歯石とは？

プラークが石のように固まったものが「歯石」です。歯石はプラーク同様、多くの細菌が潜んでいて疾患の原因となります。歯石は歯ブラシや電動ブラシでも除去できません。歯科医師や歯科衛生士による除去が必要です。歯石を取り除いてもらう際に「フッ素」を塗ってもらうことで、歯質を強化することができます。

-1-



# 大分県訪問リハ・通所リハ研究会

## 1. 会の現状

会員数 277名

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 第10回研修会

日時：平成22年6月6日（日） 10：00～15：30

場所：はさま未来館 大研修室・中研修室

内容：

基調講演 テーマ：「魅力ある訪問リハ・通所リハサービスを目指して」  
～当研究会の今後の展望～

講師：大分県訪問リハ・通所リハ研究会 会長 佐藤浩二

シンポジウム1（訪問リハ部門）：

テーマ：「地域に求められている訪問リハ」

～当事者の期待に応えるサービスを考える～

シンポジスト：

1) 介護保険サービスセンター妻垣荘

介護支援専門員 安部民子 氏

2) 湯布院厚生年金病院

作業療法士 大田 繁 氏

3) 明和記念病院

言語療法士 岩崎玲子 氏

シンポジウム2（通所リハ部門）：

テーマ「魅力ある通所リハサービスの作り方」

シンポジスト

1) 湯布院厚生年金在宅総合ケアセンター “ムーミン”

介護支援専門員 崎野有美 氏

2) 大分豊寿苑

理学療法士 児玉 渚 氏

3) デイサービスセンター楽

作業療法士 入口晴香 氏

参加者：81名

### 2) 第11回研修会

日時：平成22年12月12日（日） 10：00～15：00

場所：別府B-Con プラザ 地下2F リハーサル室

内容：メインテーマ「訪問リハ・通所リハマネジメント能力を高める」

講演Ⅰ テーマ：「組織マネジメントの基本」

～訪問リハ・通所リハ事業への応用～

講師：財団法人 竹田総合病院 介護福祉本部 部長 太田睦美 氏

講演Ⅱ テーマ：「リハビリテーション現場における医療的リスク管理」

講師：めのクリニック 院長 米野壽昭 氏

シンポジウム

テーマ：「通所系サービスにおける利用者本意のマネジメントを  
考える」

シンポジスト

1) 湯布院厚生年金在宅総合ケアセンター “ムーミン”

作業療法士 田渕麻紀 氏

2) デイサービスセンター楽 作業療法士 森 勉 氏

3) 井野辺府内クリニック 作業療法士 田中 学 氏

参加者：48名

### 3) 訪問リハビリテーションサービスの実態調査

県内の訪問リハ事業所の実態調査を県リハセンターの協力を得て実施した。

(1) 調査対象期間：平成22年8月

(2) 調査対象事業所数：278施設

(内訳：病院・診療所146件、老人保健施設43件、  
訪看ステーション83件、その他6件)

(3) 調査結果：返答あり138件、返答なし140件 (回収率49.6%)

○返答施設の内訳：実施54件(病院・診療所37件、老人保健施設3件  
訪看ステーション14件)

未実施84件

### 3. 地域リハ活動における今後の展開

平成20年度に掲げた「訪問リハ・通所リハ10か条」に掲げているテーマに沿って研修会を開催している。これは、利用者や通所・訪問リハ関係者の声を集約し、今後の行動目標としてまとめたものである。今後もこの10か条に沿った事業の展開と、地域ネットワークづくりや医療リスク管理、業務運営能力の向上をテーマとした研修会の開催を通じて、会員の資質向上を図り、地域の方々へのサービス向上へと繋げたい。



第10回研修会 基調講演



第11回研修会 シンポジウム

## 大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会活動報告

H17年11月に結成された本連絡協議会はH23年1月末現在、会員数110名となり、今年度1回スキルアップ研修会を開催した。

### ○H22年度スキルアップ研修会

日 時：H23年3月16日(水) 13:30～15:30

場 所：大分市植田行政市民センター 大会議室

内 容：

講演1「地域リハ体制整備推進事業の現状と今後の方針」

講師：県健康対策課 池邊淑子氏

講演2「大分県の介護予防事業の体系と現状の取り組み、今後の方針」

講師：県高齢者福祉課 植松美紗子氏

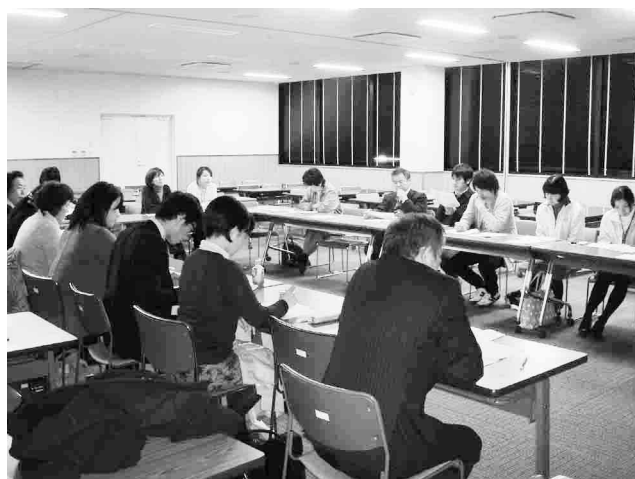
意見交換「自身の日頃の業務を振り返り地域リハ調整者・

地域リハ協力員としてできることを考える」

参加者：17名



講演1 池邊淑子先生の講演の様子



意見交換の様子

## 資料 1

### H22 年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修 2 日目

#### グループワークのまとめ

(平成 22 年 9 月 15 日開催 場所：湯布院厚生年金病院)

#### 1. はじめに

県リハセンター主催の地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修は第 7 回目を迎える。今年度受講生は 38 名である。今回は、受講生に加え各地域で地域リハビリテーション活動を担う立場となる保健所、広域支援センター、居宅介護支援事業所から助言協力者として養成研修に参加して頂いた。グループワークでは、各地域でグループを編成し地域の社会資源を明らかにした上で、問題点を抽出し地域リハ実践のための戦略（解決策）を導き出した。

以下に、グループワークで出された問題点、具体策を整理し報告する。

#### 2. グループ構成

グループワークは地域単位で 1 グループ 6～8 名の 8 グループ（大分は 2 グループ構成）。

#### 3. グループワークのまとめ

<北部（中津・宇佐高田）>

- ・中津市に脳神経外科の救急病院はあるが、その後の回復期の段階では受け皿が少なく他医療圏でリハが必要となる。
- ・脳神経外科病院には連携室がなく、窓口がはっきりしない。
- ・豊後高田市では、病院が限られ、救急搬送にも時間を要す。脳卒中での死亡率は高い。
- ・豊後高田市は、かかりつけ医を持つ住民が少なく、健康に対する意識が十分ではない。
- ・連携パスの運用がある。パスの普及で急性期・回復期・維持期で適切な情報を持って移行

できる体制に変えられるのではないか。

(逢坂先生のコメント)

- ・命に関わる問題が解決されていない。
- ・大分県内だけでなく福岡県との連携をも視野に入れ考えていかななくてはならない。
- ・住民の健康意識が変われば「かかりつけ医を持つ」意識付け・普及に繋がるかもしれない。

### <臼津（臼杵市中心）>

- ・コスモス病院が中核病院となるが、脳神経外科がなく地元で治療が行えない。
- ・脳卒中患者は大分市内へ搬送するが、搬送時間を要する（高速使用でも 30 分）。
- ・大分市内の病院との連携が十分ではない。
- ・臼杵市内でも開業医と医師会の関係が良好とは限らず連携が図りにくい。
- ・軽度脳卒中の場合、コスモス病院で入院となるが情報が十分にもらえない。

### (逢坂先生のコメント)

- ・コスモス病院は臼杵市の希望の星であり、入院して行方が分からなくなるのは非常にもったいない。
- ・地域を跨いで大分市の病院との退院調整に遠慮していないだろうか。グループワークでは、連携における苦勞が垣間見えた。

### <大分>

- ・病院の窓口がはっきりしていない（主治医から直接ケアマネジャーに連絡が入ることも多々ある）。
- ・回復期病院では、退院後の生活をイメージしたりリハケアの提供が行えているとは思えない。
- ・退院 1 ヶ月前にはケアマネジャーとの連携を持ってほしい。「明日、退院」と急に連絡をもらっても動きようがない。

### (逢坂先生のコメント)

- ・医師からケアマネジャーに直接連絡できるルートがあるのは大事にするべきと思う。
- ・大分地域で病院⇄在宅の連携システムが作れると他地域の連携も上手くいくだろう。

### <豊肥（豊後大野・竹田）>

- ・脳卒中になった場合、地域の急性期病院に一旦搬送されるが専門治療が必要となり、大分の病院へ搬送され入院となることが多い。大分の病院を退院する時には、紹介元である急性期病院には情報が届くが、かかりつけ医には情報がなく経緯や状況が十分に分からない。
- ・かかりつけ医が経緯や状況を把握できていないためにリハの指示が出せず必要なリハ提供に繋がられない。
- ・回復期病院はリハの量・質共に充実している。退院に向けては退院先の状況に合わせてリハの量・質を落として調整してもらいたい。

(逢坂先生のコメント)

・広域支援センターや保健所の協力等、まとまりがあるように見える。病院⇔在宅間が

どうあるべきか姿をイメージして協議を重ねると見えてくるものがあるかもしれない。

<南部（佐伯）>

- ・地域の中ではある程度連携できている。
- ・地域にあるインフォーマルな資源の活用が必要。173箇所あるいきいきサロンを上手く活用できないか。
- ・大分市との連携は上手くいっているとは言えない。距離の問題は、顔の見える連携の構築を難しくする。
- ・大分市との医療機関等との連携では、情報収集も兼ねて統一した連携シートの作成ができないか。

(逢坂先生のコメント)

- ・地域内での連携は円滑に行えているようだが、地域内で必ずしも急性期、回復期、維持期が完結はしない。大分市との連携体制の検討・構築が課題だと思う。
- ・団塊世代の男性陣が利用しようと思うデイサービスは、利用者が役割を持てる内容があるかどうかだと思う。利用者自身が自分がいなくてどうしようもないと思わせられるかどうかポイントだろう。

<西部（日田玖珠）>

・日田市内に急性期病院はあるが、久留米市等福岡県との繋がりが強く地域内で完結しない。

- ・山間部等で生活する住民が多い割には、へき地までサービスが介入しない。社協によるヘルパーだけでどうにか生活を支えることも多い。
- ・福岡県の病院に入院すると、その後の行方が分からなくなってしまう。

(逢坂先生のコメント)

- ・「福岡県の病院に入院すると消えてしまう」のは何故なのか。

<東国東>

- ・地域内の職能団体との連携が横断的にできるとよい。
- ・包括支援センターがケアプランの立案に追われるのではなく、本当の意味でコーディネートの役割を担ってほしい。民生委員等、インフォーマルな資源を有機的に結び付けていける存在ではないか。

(逢坂先生のコメント)

- ・ネットワークは多数ある。しかし単一職種でネットワークが構築されていないだろうか。病院⇔在宅における多職種が関わるネットワークが地域内にあるか、思い起こして見てほしい。病院⇔在宅には、多職種多領域の関わりが必須で組織化が必要である。地域内になれば、必要性を地域内の様々な機関に呼びかけ組織すべき。

#### 【まとめ】

- ・大分県全体で動かなければ解決しない問題も多いことが明らかとなった。  
→県リハセンターがコーディネートする役割を持つ
- ・かつての隣組制度が残る地域もある。地域の結びつきを活かして地域に即した形を作ることも必要。結びつきの中に入り込むことができれば、当事者となる住民が主体的に地域リハを広めることになる。
- ・多職種が集まって話す場がある地域は多くはない。戦略的に動くには多職種が話す場は必要不可欠。
- ・2次医療圏のコーディネートが必要だが、圏域のコーディネートができるのは「保健所」「広域支援センター」だけ。「保健所」と「広域支援センター」は助け合い協力体制を作る必要がある。この協力体制にその他の様々な機関が乗入れていくと連携は充実できる。

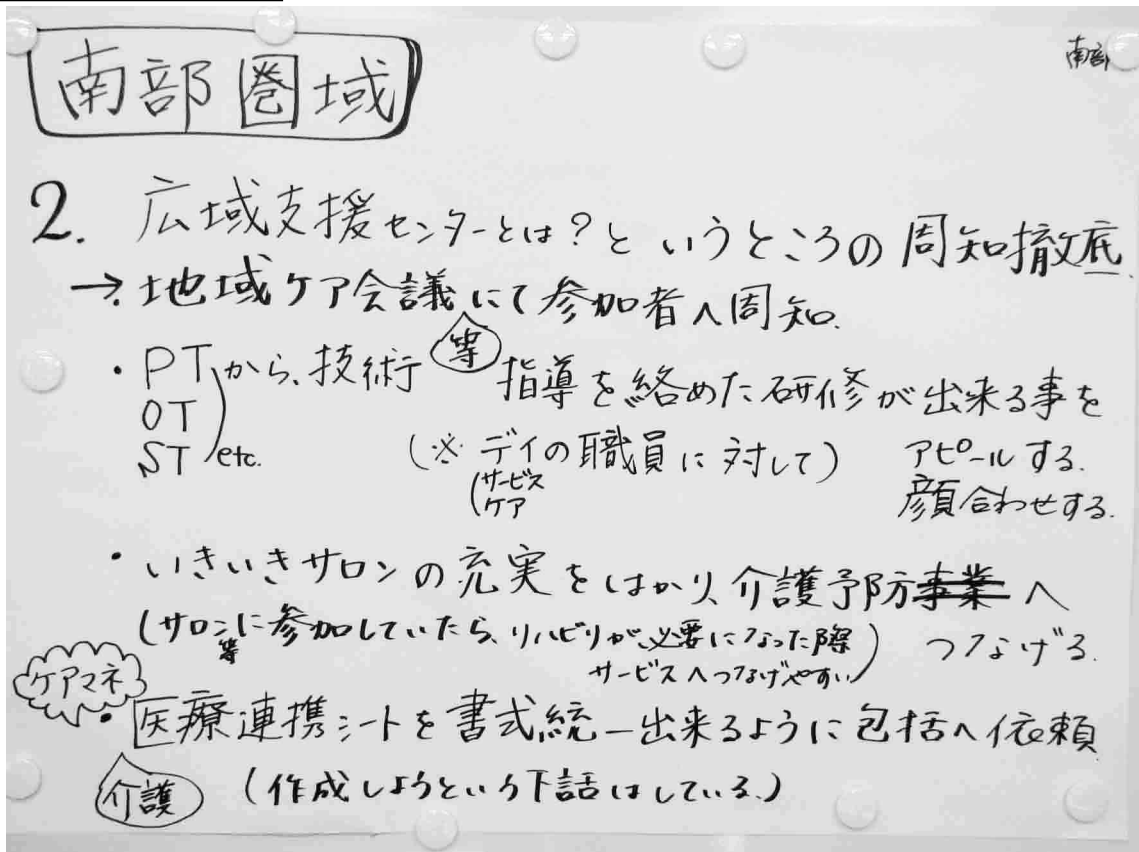
資料 2

H22 年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修 3 日目

グループワークのまとめ

(平成 22 年 11 月 17 日開催 場所：湯布院厚生年金病院)

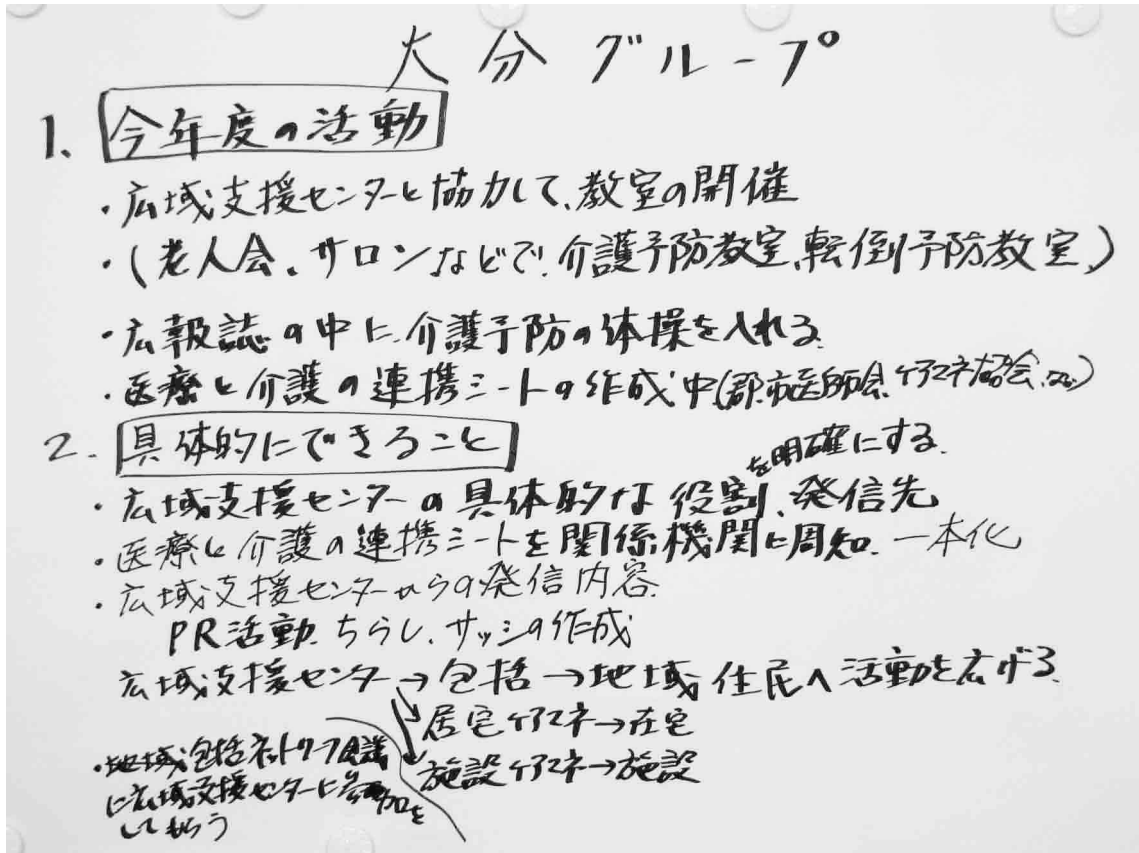
佐伯グループ



広域支援センターが何をする所なのか十分に見えない。周知啓発の場として、既存の「ケア会議」を活用し、広く存在をアピールして欲しい。



# 大分グループ



介護支援専門員が広域支援センターの存在を十分に知らない。居宅介護支援事業所へ地域リハ活動の周知・啓発が必要ではないかと思う。また広域支援センターは介護支援専門員への研修を中心に、包括支援センターは在宅利用者への指導・教育と担う役割を分けたいのではないかと思う。

大分郡市医師会、介護支援専門員等が中心となって医療と介護の連携シートを作成し、試験的な活用を開始している。

## 臼津グループ

1. 前回のグループワークを受けて、圏域の活重かに変化はありましたか？

・H22年度臼津圏域地域リハビリテーション調整者・協力員会議に参加。

大分市内の病院との連携方法

開業医とのかかわり

脳卒中と診断された場合

地域包括と広域支援センターの関係

臼津地域の特徴

⇒ 現状理解に  
つながった

臼津圏域

2. 広域支援センター、保健所、包括支援センターを中心に具体的に出来る事

(広域支援センター)

・事業や会議の内容など、他スタッフにも情報共有

・会議・研修内容をまとめて報告・回覧

(保健所・市)

・広域支援センターと共催での研修会

・実務者会議に参加・情報の共有

(包括支援センター)

・各事業所職員の資質の向上・情報の共有を図る目的でヘルパーステーション・デイサービス等事業所職員の参加を促す(実務者会議)

一部のスタッフが現状を把握している状況を改善する必要がある。

# 北部グループ

北部

## 1. 圏域の活動に変化は?

豊後高田市 = 地域包括センター内部で共有できた (活動の意味、目的、広域リハセンターの意味)

- 行政の活動には継続性が課題。果敢により、せっかく培ったものがつばけない。
- 福祉行政だけでは困難。巻き込み必要。
- 地域包括の活動強化として、リンクした活動がしたい。

宇佐市 = 市の地域ケア会議に正式参加となった

- 地域の利用者の困り事など、生の声が届く
- 広域リハセンター活動の「たね」がつかぬような気がする!

## 2. 今後具体的にできること

**豊後高田包括**

- ケア会議1の広域リハセンターの参加及びメンバー構成員として
- 脳卒中パスの検証
- 広域リハセンターを相談先としておこなう。

**H.C**

- 脳卒中連携パスの役割表作成により実務へ反映 (あて=メンバー)
- 脳卒中 (検証と普及啓発) (当事者にとりての意味づけ)
- 県 医療機能情報が活かせていない。

ケアプラン適正化  
↑  
地域のケアマネの多忙さ  
急性期には行かないのつなぎ先  
回復期の病棟 地域の支援者が少い

北部

## 3. 広域支援センター事業に盛り込むもの

- ◎ 研修機能
  - H.Cの介護従事者等への参画
  - リハビリにより改善、維持されている事例を用いた研修会の参画
  - ケアプラン等に反映できる様に、研修内容を改善
- ◎ 地域連携の促進に向けて
  - 主たる支援者となるケアマネが主体的に実施できるようにしたい。
  - ↓  
どうすれば主体的に動けるか?
    - 改善している事例とみる機会をつくる。
    - 参加率をUPさせるためには... 総会(ケアマネ)
    - 主治居宅サービスの巡回、同行訪問。
- ◎ 各機関の機能集約 (市、包括、H.C、広域リハ、ケアマネ協議会)
  - 次年度の事業計画のすり合せと年間スケジュールを作成
  - ◎ 現行の事業の把握
  - ◎ カテゴリー化と効率性
  - 広域協議会前に!!

各機関がそれぞれ目的を持ち事業を展開しているが、同様の事業が行われることがある。共通目的となる事業は効率的に行えるよう事業計画立案前に、実務者レベルで打ち合わせを行うこととなった。中心的に動く所は保健所もしくは広域支援センターが望ましいが、今後検討とする。【宇佐高田地域】

# 日田玖珠グループ

西1

## 西部圏域

課題 **連携**

具体的には...

まずは 地域リハビリテーション調整者  
協力員

意見交換会を開催していく。

何をしていくか? **課題**・参加しやすい環境づくり

- 顔合わせ (お互いを知る。)
- 社会資源の把握と整理  
→次にまき込んでいく人を知る。
- 情報伝達ツールの把握  
→由題点を挙げる

構成

- 広域支援センター
- 行政(市町村)
- 保健所
- 包括支援センター

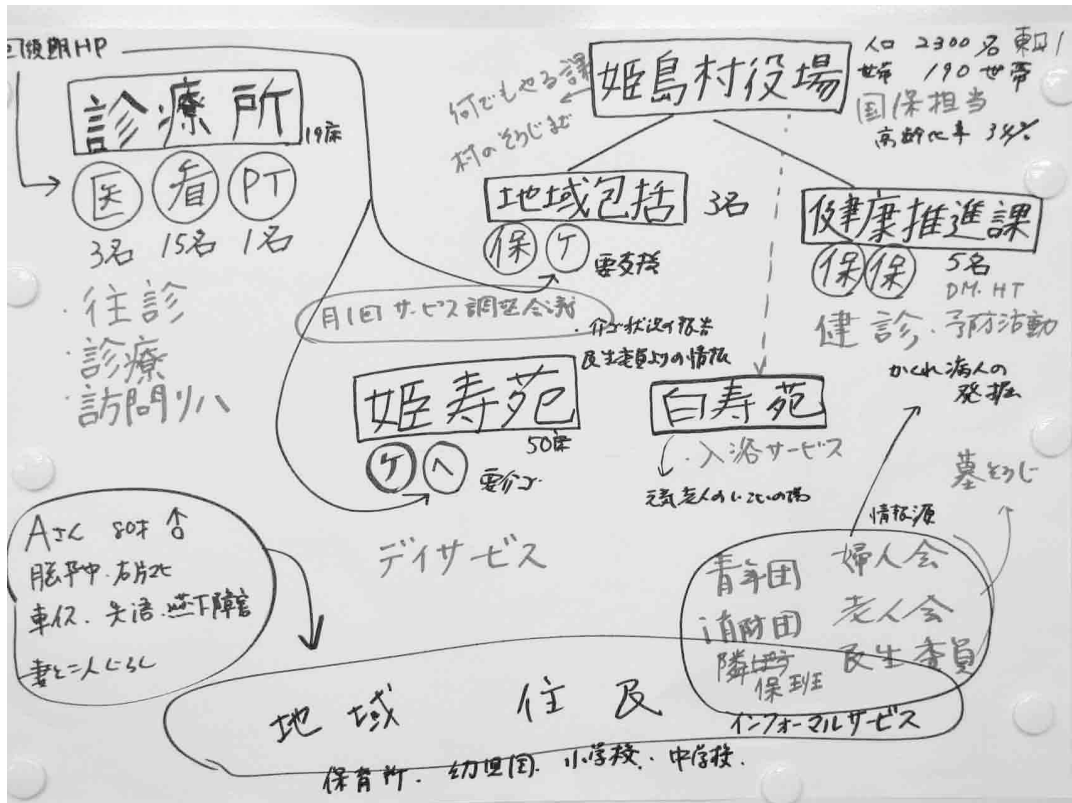
西2

## 実行する為の課題

- 他職種と共有できる  
情報伝達ツールが欲しい。(共通言語)
- 情報伝達をする上での窓口が欲しい。
- 情報伝達ツールの対象者の基準がない。
- 病院によって情報提供書の内容が(施設)バラバラである。
- 病院内での他職種の視点・役割を知る。 → 縦の連携と横の連携

調整者・協力員の意見交換会を定期的で開催して社会資源の把握と問題点を整理していく。そして、将来的には多職種を介する六者（七者）合同研修会に繋げる。

# 東国東グループ



<具体的にできること>  
 診療所, 地域包括, 姫寿苑での情報共有が充実している  
 インフォーマルサービスが充実している

<広域支援センターに関わってもらいたいこと>  
 (課題として)  
 地域包括と健康推進課間での連携  
 月1回のサービス調整会議への参加の協力  
 予防活動への助言

【姫島村の受講生のみであり、姫島村における地域リハ活動を考えた】

姫島村では、インフォーマルな資源が力を発揮している現状がある。広域支援センターには、月1回定期開催されるサービス調整会議に加わってもらい介護予防活動や保健指導等の場面で関わってもらいたい。

大野・竹田グループ

## 豊肥圏域 ネットワーク作りをどうするか？

**竹田市** (保険課 健康増進課 福祉事務所)

- 総合計画
- 健康作り計画
- 介護保険計画
- 地域包括支援センター (竹田市が竹田社協に委託)
- 調整会議
- 介護保険 難者連絡
- 認知症検討会 ケアマネ協議会
- 竹田市 社会福祉協議会
- 地区社協
- ヘルパー協議会
- 地域相談
- 地域住民の 介護教室

**保健所**

- 効果的かつ適正な切れ目のない 保健・医療・福祉サービスの充実。
- 脳卒中地域連携協議会
- 実務者に対して 介護予防 認知症 検討会 石井修会

**医療機関**

**広域リハセンター**

- 地域リハビリの推進
- 実務者に対して 研修会 勉強会の開催
- 地域住民に対して 相談 (リハビリに対して 福祉用具に対して)
- 介護教室の開催 (地区社協からの依頼)
- 連携 地域リハビリの円滑な実施のために 連絡協議会 実務者連絡会

**介護保険 事業者**

## ネットワーク作りをどうするか？

〈課題〉 それぞれのネットワークが繋がっていない。

〈目標〉 お互いのネットワークの役割を明確にしてお互いが認識する。

今後に向けて

**保健所**

- めざす姿 連携システムが地域に根付く
- 脳卒中協議会
- 市保険課 - 包括 ケアマネ協 - 広域セ-ワ
- が活りなぐ!!
- おぼろ!!
- 重要な役割

**広域センター**

- 連携システムが円滑に運用されるような場と機会の提供 バックアップ!!

竹田市で障が... 医療 病院 生活を送りた...

保健 (市役所 保健所)

福祉 (介護) 包括 ケアマネ協 社協 地域相談

広域支援センター

それぞれの機関がそれぞれの目標を持って活動しているが、今後広域支援センターとして一層連携を深めていく 1つの切り口として、保健所が取り組んでいる「脳卒中協議会」に参加して連携システムが円滑に運用されるようにバックアップする役割を期待したい。

## 資料3

## 地域リハ調整者・地域リハ協力員 圏域別人数

地域名	市町村、保健所、広域支援センター名	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度	H17年度	H16年度	H15年度	合計
東国東	国東市	0	0	2	—	—	—	—	2
	国見町	—	—	—	0	1	0	0	1
	国東町	—	—	—	0	0	0	1	1
	武蔵町	—	—	—	1	0	1	0	2
	安岐町	—	—	—	0	0	0	0	0
	姫島村	1	0	0	0	1	0	0	2
	東部保健所国東保健部	0	0	0	—	—	—	—	0
	国東保健所	—	—	—	0	0	0	1	1
	国東市民病院	0	0	0	0	1	1	0	2
国東市地域包括支援センター	1	0	0	0	—	—	—	1	
別杵速見	別府市	0	0	0	0	1	0	0	1
	杵築市	0	0	0	0	0	1	1	2
	日出町	0	0	0	1	1	0	0	2
	東部保健所	0	0	0	—	—	—	—	0
	別府県民保健福祉センター	—	—	—	1	1	0	0	2
	別府県民保健福祉センター日出保健支所	—	—	—	1	0	0	0	1
	別府リハビリテーションセンター	0	1	1	1	1	1	1	6
	杵築市地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	日出町地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	泰生の里地域包括支援センター	0	1	0	0	—	—	—	1
大分	大分市	1	1	4	2	0	1	0	9
	由布市	0	0	0	0	0	1	1	2
	中部保健所由布保健部	0	0	0	—	—	—	—	0
	別府県民保健福祉センター由布保健支所	—	—	—	0	1	0	1	2
	大分市保健所	0	0	0	0	0	1	0	1
	井野辺病院	0	2	1	0	1	1	1	6
	大分岡病院	0	1	1	0	1	1	1	5
	上野ヶ丘・植田地域包括支援センター	0	1	1	0	—	—	—	2
	城南・賀来地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	城東地域包括支援センター	0	0	1	1	—	—	—	2
	原川・鶴崎地域包括支援センター	1	0	2	0	—	—	—	3
	明野地域包括支援センター	1	0	0	0	—	—	—	1
	王子・大分西地域包括支援センター	2	0	0	0	—	—	—	2
	大東・東陽地域包括支援センター	0	1	1	1	—	—	—	3
	植田・植田西地域包括支援センター	1	0	0	4	—	—	—	5
	植田南・植田東地域包括支援センター	—	0	1	2	—	—	—	3
	植田東地域包括支援センター	1	1	—	—	—	—	—	2
	植田南地域包括支援センター	1	1	—	—	—	—	—	2
	植田西地域包括支援センター	0	1	—	—	—	—	—	1
	竹中・判田地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	佐賀関・神崎地域包括支援センター	0	0	1	1	—	—	—	2
	由布市地域包括支援センター庄内事務所	0	0	1	1	—	—	—	2
	由布市地域包括支援センター挾間事務所	0	0	1	0	—	—	—	1
由布市地域包括支援センター湯布院事務所	0	0	0	1	—	—	—	1	
臼津	臼杵市	0	1	0	1	0	0	0	2
	津久見市	0	1	0	0	0	1	1	3
	中部保健所	0	1	0	—	—	—	—	1
	臼杵保健所	—	—	—	0	1	1	1	3
	臼杵市医師会立コスモス病院	2	0	2	2	1	1	1	9
	臼杵市地域包括支援センターコスモス	1	2	1	0	—	—	—	4
佐伯	佐伯市	3	1	0	2	2	2	2	12
	佐伯市上浦振興局	0	0	0	1	0	0	0	1
	佐伯市米水津振興局	0	0	0	1	0	0	0	1
	南部保健所	0	0	0	—	—	—	—	0
	佐伯県民保健福祉センター	—	—	—	1	1	1	1	4
	長門記念病院	0	0	0	0	1	1	1	3

大野	豊後大野市	0	0	0	0	1	0	3	4
	豊肥保健所	2	0	0	—	—	—	—	2
	大野県民保健福祉センター	—	—	—	1	1	1	1	4
	岡本病院	0	0	2	0	1	0	1	4
竹田	竹田市	1	0	0	0	1	0	3	5
	竹田保健所	—	—	—	0	1	1	1	3
	大久保病院	1	1	1	1	1	1	1	7
日田玖珠	日田市	0	0	0	0	0	1	2	3
	九重町	0	0	0	0	0	1	0	1
	玖珠町	1	0	0	0	1	1	0	3
	西部保健所	1	0	0	—	—	—	—	1
	日田玖珠県民保健福祉センター	—	—	—	0	1	0	1	2
	大分県済生会日田病院	1	2	0	0	1	0	1	5
	日田市西部地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	日田市南部地域包括支援センター	0	0	2	0	—	—	—	2
	日田市中央地域包括支援センター	0	2	2	0	—	—	—	4
	日田市東部地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
中津	中津市	0	0	0	0	1	0	2	3
	北部保健所	1	0	1	—	—	—	—	2
	中津保健所	—	—	—	1	1	0	1	3
	川島整形外科病院	0	0	0	0	1	1	1	3
	中津市地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
宇佐高田	宇佐市	0	0	0	1	1	2	2	6
	豊後高田市	0	0	0	0	0	1	0	1
	北部保健所豊後高田保健部	0	0	0	—	—	—	—	0
	宇佐高田県民保健福祉センター宇佐保健部	—	—	—	0	1	0	1	2
	宇佐高田県民保健福祉センター豊後高田保健部	—	—	—	1	0	0	0	1
	介護老人保健施設清流荘	0	0	0	0	1	1	0	2
	宇佐圏域地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	安心院圏域地域包括支援センター	0	1	1	0	—	—	—	2
	院内圏域地域包括支援センター	0	0	0	1	—	—	—	1
	豊後高田市地域包括支援センター	2	2	0	0	—	—	—	4
県リハセンター	6	7	6	5	3	4	4	35	
計	32	34	48	37	34	31	40	256	

※H22年度末現在